

(令和4年度第2次補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名	有田市	(都道府県: 和歌山県)
本事業の担当部局名	市民福祉部福祉課	

事業メニュー	結婚・妊娠・出産・子育てに温かい社会づくり機運醸成事業		
区分	一般メニュー		
関連事業メニュー	3.1.4 ライフデザインセミナーの実施		
個別事業名	若者ライフデザイン形成支援事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	新規
実施期間	交付決定日 ~	令和6年3月31日	事業開始年度 年度
対象経費支出予定額 ※(注)1	3,074,000		円
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	<p>(地域における実情と課題及び本個別事業の位置付け)</p> <p>&lt;地域における実情と課題&gt; 本市の合計特殊出生率は1.46(令和元年)で、全国平均を上回っているが人口維持に必要とされる2.07には遠く及んでおらず、出生数も減少傾向にある。 少子化対策として結婚新生活支援事業や、スマイルチケット配付、出産祝い金の支給、小中学校等入学祝金の支給など市独自の様々な事業を実施し、同時に将来に渡り子どもたちが安全で快適に過ごすことができ、かつ質の高い教育・保育環境を整えるため、保育所再編基本計画を策定し施設の建替え等を進めているところである。 しかしながら、当市の年少人口は継続して減少しており、その要因は若者世代の流出に加え、晩婚化・未婚化にあると思われる。 令和3年度市民意識調査(16歳から50歳対象)とした市民調査でも、30歳代の『結婚したことがない』の回答が全体の62.35%となっており、晩婚化・未婚化は顕著である。結婚生活の利点については、『自分の子どもや家族をもてる』や『精神的なやすらぎの場が得られる』などの肯定的な回答の割合が平成30年度調査から大幅に減少し、逆に『特に利点はないと思う』といった否定的な回答が増加しているため、これから親となっていく中高生などが結婚や家庭・子育ての将来イメージを描くことができることが重要である。</p> <p>&lt;本個別事業の位置付け&gt; 令和2年3月に策定した「第2期有田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、3つで構成される基本目標の1つである基本目標1「誇れるまち有田市」の基本施策として、1.妊娠・出産・子育ての環境整備、2.質の高い教育環境の実現、3.安全・安心で豊かな暮らしの実現がある。本事業は、1.妊娠・出産・子育ての環境整備として、本市で結婚し、妊娠・出産・育児をしていきたいと思えるようなまちづくりに向けた取り組みに位置付けられ、若い世代が将来、結婚や家庭をもつことを支援するものである。</p>		
	(本個別事業における現状と課題)		
	(課題への対応) 出産・子育てを意図している世帯においては、世帯当たりの子どもの数の割合は過去と比較しても大きな変化はない。一方、市民調査からは結婚し家庭を持つことや、働きながら子どもを育てることにメリットがないと感じる人が多くなっていると思われる。理由は様々あるだろうが、現代の若者が身近で働く人や子育てする人、またそうした人の考えに触れる機会が少なくなっていることも一つの原因と考える。これから大人になっていく若者に、地域における仕事や家庭、子育てに関連した多くの人のリアルな姿や言葉に触れる機会を創出し、仕事と結婚・子育てに対して、自身の将来イメージが描けるような考えるきっかけを作る。		

	番号	項目	内容	ステップ アップ	KPI 設定
個別事業の内容	1	ライフデザインセミナー開催	<p>下記2の動画を活用したライフデザインセミナー(ワークショップ)を実施 男女がそれぞれの立場を尊重しながら、就業、結婚、出産、子育てについて将来のライフスタイルを自分事として捉えられ、気づいてもらうとともに、自分のライフプランに応じた就学や就業先を選択する必要性を理解してもらう。</p> <p>【ライフデザインセミナーの内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動画視聴 様々なライフスタイルがあることに気づく</li> <li>・情報提供 働き方やキャリアと子育ての情報 結婚や出産についての情報</li> <li>・5年後、10年後のライフデザインシートを作成、ワークショップ形式での意見交換。</li> <li>・振り返り・まとめ ➡ 全体を通して客観的な理解を促す</li> </ul> <p>【事業スケジュール予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナー実施事業者募集</li> <li>・秋以降 セミナー実施(市内の中学生・高校生)</li> <li>・セミナー開催 2回(参加定員 各30人)</li> </ul>		○
	2	動画配信	<p>【動画内容】</p> <p>改築事業を予定している保育所を軸として</p> <p>①保育所に通う子どもの保護者の姿や声を伝える。 (意図) 保育所に通う保護者は基本就労しているため、仕事・家庭・子育てを繋いでイメージさせるとともに、たくさんの大人や地域で子どもが生まれていることを伝える。</p> <p>②改築や保育所に関わる人の働く姿や声を伝える。 (意図) 身近なところで、様々な職業で働く姿を見せることで、より仕事に対する将来イメージを沸かせ、働く意義や生きがい、誇りを伝える。</p> <p>動画視聴を通じ、これから子育てをしていく世代が、働くことや子育てについて考えるきっかけとなり、かつ、子どもを生み育てたいという意識を醸成できる。</p> <p>【手法】</p> <p>一回きりの配信では視聴行動に結びつけるのは難しいため、有田市公式YOUTUBEを活用し、継続的に配信する。(約半年間に週1回を想定) (視聴動機を持たせるため、保育所の建築状況を交えながら随時配信)</p> <p>【事業スケジュール予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4～5月:企画、構成、対象等の検討、設定及び動画撮影及び編集事業者の選定</li> <li>・6月:撮影・編集開始</li> <li>・8月:動画配信周知(全市民向け)</li> <li>・9月～3月:動画配信開始、並行して撮影・編集の継続</li> </ul>		○
※(注)3	<p>【次年度以降に向けた事業の方向性】</p> <p>アンケート結果を活用し、各世代に応じたセミナーの内容について検討をおこない、より効果的に実施されるように見直しを図る。 作成動画及びセミナーの内容を中学校や高校の授業での活用検討と配付。</p> <p>【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】</p> <p>那珂市ライフデザインサポート事業</p>				
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	KPI項目		単位	目標値	現状値
	年少人口		人	2,965(令和6年)	2,995(令和元年)
参考指標 ※(注)5	項目		単位	直近の実績	
	合計特殊出生率			1.46(令和元年)	
	婚姻件数		件	104(令和元年)	
婚姻率			3.9(令和元年)		
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目		単位	目標値	現状値
	ライフデザインセミナー参加者数		人	60	-
	ライフデザインセミナー参加者数の割合		%	90	-
	ライフデザインセミナーに参加し、人生設計について考えるきっかけとなった参加者の割合(満足度)		%	80	-
	平均動画視聴回数		回	2,000	-
育児と仕事の両立をできると感じる割合の増加		%	80	-	
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7					
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8					